

やまが Yamaga City council News

市議会だより

第39号
6月定例会

令和5年9月1日
発行／山鹿市議会



令和5年8月8日 於:玉名市

歴史博物館こころピア

日本遺産に関する4市町（山鹿市、 菊池市、玉名市、和水町）合同議 員研修会

『日本遺産と地域活性化～認定から6年が経過して～』というテーマで研修をしてまいりました。

《もくじ》

政務活動費	2
委員会審査と報告	3～4
質疑・一般質問	4～8
賛否表・討論	9
議会だより研修	9
シチズンシップ教育特集	10～11
議会の主な動き他	12

令和4年度「政務活動費」概要を報告します

山鹿市議会の政務活動費は、「山鹿市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員一人に対し月額2万円（年額24万円）が、毎年度4月に当該年度分として交付され、住民福祉の増進を図るために必要な議員活動にかかる経費に使うことができます。

令和4年度 政務活動費全議員一覧

No.	氏名	交付額	使 途 基 準 (項 目)										合 計	返還額	公費 使用額
			調 査 研究費	研 修 費	広 報 費	広 聴 費	要 望・陳 情 活動費	会 議 費	資 料 作成費	資 料 購 入 費	人 件 費	事 務 所 費			
1	関口 和良	240,000	112,275	5,000	44,000	0	0	0	0	131,676	0	12,000	304,951	0	240,000
2	永田 壮拓	240,000	55,730	159,563	0	0	0	0	0	104,570	0	12,000	331,863	0	240,000
3	深牧 大助	240,000	59,828	128,934	0	0	0	0	0	43,880	0	12,000	244,642	0	240,000
4	原 芳郎	240,000	112,275	5,000	44,000	0	0	0	2,200	72,276	0	12,000	247,751	0	240,000
5	隈部 賢治	240,000	0	113,200	0	0	0	0	3,929	40,800	0	12,000	169,929	70,071	169,929
6	高橋 龍一	240,000	51,840	50,600	9,950	0	0	0	0	40,800	0	12,000	165,190	74,810	165,190
7	豊田新二郎	240,000	56,478	148,063	0	0	0	0	0	40,800	0	12,000	257,341	0	240,000
8	山下 誠治	240,000	112,275	5,000	44,000	0	0	0	1,567	114,282	0	12,000	245,124	0	240,000
9	古川 和博	240,000	51,840	14,000	0	0	0	0	1,600	137,122	0	12,000	216,562	23,438	216,562
10	金光 一誠	240,000	112,275	5,000	44,000	0	0	0	3,342	51,960	0	12,000	228,577	11,423	228,577
11	松見 真一	240,000	55,730	161,853	0	0	0	0	4,330	50,375	0	14,244	286,532	0	240,000
12	立山大二郎※	200,000	0	110,880	0	0	0	0	28,600	72,205	0	10,000	221,685	0	200,000
13	小川 榮二	240,000	55,344	5,000	0	0	0	0	0	60,320	0	12,000	132,664	107,336	132,664
14	芋生よしや	240,000	0	30,000	95,241	0	0	0	0	125,916	0	26,957	278,114	0	240,000
15	勢田 昭一	240,000	62,010	5,000	91,960	0	0	0	12,900	75,867	0	67,000	314,737	0	240,000
16	有働 辰喜	240,000	0	5,000	0	0	0	0	2,445	66,337	0	12,000	85,782	154,218	85,782
17	服部 香代	240,000	0	199,039	13,671	0	0	0	0	57,050	0	12,000	281,760	0	240,000
18	富丸洋一郎	240,000	112,275	0	0	0	0	0	1,085	60,360	0	12,000	185,720	54,280	185,720
19	北原 昭三	240,000	0	5,000	57,734	0	0	0	12,432	84,020	0	13,386	172,572	67,428	172,572
20	永田 紘二	240,000	0	5,000	0	0	0	0	0	60,360	0	12,000	77,360	162,640	77,360
合 計		4,760,000	1,010,175	1,161,132	400,556	0	0	0	74,430	1,490,976	0	311,587	4,448,856	725,644	4,034,356
構 成 比		-	22.7%	26.1%	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	33.5%	0.0%	7.0%	-	-	-

※令和5年1月31日に市議会議員辞職のため、別途2か月分を返還。

執行率 84.76%
完全執行 11名

詳細につきましては山鹿市議会ホームページに掲載しております。



常任委員会審査と報告

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報広聴委員会で作成したものを掲載しています。

◎委員長
○副委員長

6/20 開催

建設経済常任委員会

◎小川 榮二 ○隈部 賢治 北原 昭三
松見 真一 豊田新二郎 関口 和良

◆付託案件 議案1件…可決

◆主な審査内容
予算の執行に関する市長の調査等の対象となる法人を定める条例について

【詳細】

地方自治法施行令に基づき、山鹿市の出資比率、債務負担比率が2分の1以上の法人については、市長の調査等の対象となる。しかし、今回株式会社小栗郷が行った増資により、市の出資比率が2分の1未満になり、調査対象法人ではなくなるため、市が資本金等の出資比率が4分の1から2分の1未満を出資している法人に対して市長の調査等の対象とするために条例を定めるもの。



山鹿市役所庁舎

6/21 開催

市民福祉常任委員会

◎勢田 昭一 ○金光 一誠 芋生よしや
山下 誠治 深牧 大助 永田 壮拓

◆付託案件 議案8件…承認・可決

◆主な審査内容

重度心身障害者医療費助成について

問 対象者の数は

答 身体障害者手帳1級・2級所持の方12206人、知的障害に係る療育手帳A1・A2所持の方251人、精神保健福祉手帳1級所持の方83人で、合計1540人となる。

問 これまでの手続きと変わるのか

答 従来どおりで、変わらない。

問 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について

問 該当する事業所と数は

答 該当する事業所は、公立・市立の保育所20、認定こども園3、小規模の施設、認定こども園3、小規模の施設（地域型保育施設2、認可外3）などがある。



鹿本こども園

6/22 開催

総務文教常任委員会

◎富丸洋一郎 ○原 芳郎 永田 紘一
有働 辰喜 古川 和博 高橋 龍一

◆付託案件 議案3件…可決 認定…1件

◆主な審査内容

一般職の職員の特殊勤務手当について

問 これまで支払われた新型コロナウイルス感染症に関する特殊勤務手当の総額は

答 令和2年度から令和5年5月7日までのトータルで182件の搬送をし、特殊手当の金額は252万1千円。

問 財産（旧千田小学校）の処分について

問 予定価格は不動産鑑定士の鑑定評価か

答 不動産鑑定士が算出した適正な価格。

問 売却金は今後どうするのか

答 財政調整基金等に積み立てる。

問 売却先をやまがBASEに決定した理由は。また、元々やまがBASEありきで売却の話が進んだのではないか

答 プロポーザルにおける11の評価項目（運営形態、人員配置、雇用方針等々）に基づき総合的に審査した結果、候補者として適当と判断したもので公平、公正に決定した。

予算決算委員会分科会審査内容

建設経済分科会

経営発展支援事業（1945万1千円）

問 本市の新規就農者数は

答 令和4年度13人、令和3年度16人が新規に就農されている。

LPガス料金高騰対策事業（9380万8千円）

問 本事業の概要は

答 家庭用LPガス契約世帯1万3千世帯に6千円を給付する。給付方法は熊本県LPガス協会を通して行う。

市民福祉分科会

子育て世帯生活支援特別給付事業（8041万3千円）

問 給付状況・周知は

答 支援給付対象者は、15448人。5月30日までに、1414人へ給付。給付率91.3%。

家計急変世帯についてはホームページ・広報や困窮窓口などで周知。

物価高騰重点支援給付事業（3億339万9千円）

問 給付タイムスケジュールは

答 ①非課税世帯は、通知を7月上旬、振込を7月下旬～8月上旬に予定。

②税情報不明世帯は、申請通知7月中旬、申請受付7月下旬～11月30日。

③均等割のみ課税世帯は、確認通知8月中旬。

④家計急変世帯は、申請受付7月下旬～11月30日。

②～④のいずれも申請受付後2週間程度

で振り込む予定。

地域公共交通事業（1452万7千円）

問 鹿北バス路線が廃止されるが、他路線廃止の場合、同様に定時定路線のジャンボタクシーを運行するの

か

答 利用実態等に応じ、地域住民の利便性確保のため今回同様の対応は、十分に考えられる。

問 ジャンボタクシーの、試験運行の期間の想定は

答 3年間を予定。今後検証しながら、判断したい。

問 あいのりタクシーのパンフレットを作成の予定とのことだが、範囲と周知は

答 全地域新たなパンフレットを作り直し、対象となる地域へ配布予定。

総務文教分科会

サテライトオフィス開設支援事業（1億200万円）

問 具体的な内容と今後の展開の見通しは

答 国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用して、旧千田小学校をサテライトオフィス等に改修する事業者やまがBASE（株）を支援するもの。企業を呼び込むためのサテライトオフィス、コワーキングスペース等の施設整備と企業支援や地域とのコミュニケーションづくりなどソフト事業に対する支援で、県外からの施設利用者を15社、人数4000人、移住者5人を目標に山鹿市の認知度向上を目指し、移住定住につながる取組が行われる。

問 高齢者・障害者に優しい歩道の整備は

答 道路利用者にとって安全で快適な空間になるよう努めていく



街路樹の根上りや凹凸で歩きにくい歩道

とよだ しんじろう
豊田 新二郎 議員
(鹿政不動産)



問 近年、歩道のバリアフリー化が重要な要素となっている。

子どもや高齢者、車いすやベビーカーの利用者など、いわゆる交通弱者が日常使う生活道路において、歩道の段差や傾斜がきつく、利用しにくくなっている箇所が本市において多数見受けられる。特に桜町周辺の歩道は街路樹の根上りや凹凸もあり、歩きにくい場所が多々ある。

歩道における路面の段差や凹凸、傾斜の改善等、本市の取組と今後の整備方針を伺う。

答 建設部長

歩道の整備については、交通量の多い幹線道路や通学路を中心に、国が示す基準やガイドラインを参考に、高齢者や障害者など交通弱者の方々がスムーズに利用できる歩道を目指し整備している。

桜町周辺の歩道など、交通バリアフリー法施行前に整備されている歩道の多くは、歩道が車道より高く、車が入りやすい。乗り入れ部や横断歩道付近では、歩道の高さを下げるため、いわゆる「波打ち歩道」となり、スムーズさを欠いている状況である。

本市では、今後も引き続き、老朽化した道路の改修に併せ、既存歩道のバリアフリー化を図り、道路利用者にとって安全で快適な空間となるよう努めていく。

その他の質問

- ・防災・災害について(避難所の開設・運営、ペットの同行避難)
- ・自治体DXについて(重点取組事項の進捗、チャットGPTの活用、情報セキュリティ対策)
- ・視覚障害者誘導用ブロックの整備について



問 市長の決断で給食費無償化の実施を

答 独自実施は困難、国の動向を注視する

いもう
芋生 よしや 議員
(日本共産党)

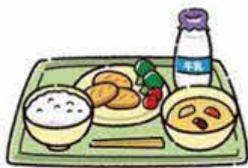


過去の議会でも質問

H29年3月 R3年3月 R4年6月 R4年9月

物価高騰による給食費の値上げは、熊日報道によると県内45市町村で7自治体。その内補助がないのは、山鹿市と御船町だけである。

物価高騰の影響は、子育て世帯には重くのしかかっている。学校給食法は自治体判断により保護者負担軽減や無償化することは何の問題もないことが国会答弁で明らかである。全国で無償化が進み、保護者負担軽減自治体は、8割を超えている。「子どもは宝だ」宣言の自治体として、物価高騰、少子化・人口減少対策として市長の決断で、学校給食費無償化を実施する時ではないか伺う。



その他の質問

- 国民健康保険税子どもの均等割減免
- 自衛官等募集事務の除外申請について

答 市長

長引く物価高騰は、子育て世帯のみならず、多方面に影響を及ぼしている。

本市の子育て支援策は、医療費無償化・新入学児童支援事業及び修学援助など幅広く行い、山鹿で子育てしてよかったと「選ばれる山鹿」の実現に努めている。

国において法改正、財源の確保がなされない限り実施は困難であり、国の動向を注視していく。

問 鹿北路線バス廃止後の対応等は

答 鹿北全地域あいのりタクシー拡充



ふるかわ かずひろ
古川 和博 議員
(清風やまが)



過去の議会でも質問

R5年3月

今回、産交バスの経営判断とは言え、来民中町線に続く鹿北線の廃止であり、今後も続くことが想定されるなど、地域公共交通網に対する市民の不安感が拭えない状況である。

特に、過疎地の足を確保しなければ生活圏を守ることができず、日置のバス停等を含め市独自策として公共交通網を整備し、ハブ化を見据えた取組が欠かせないポイントではないかと考えるが、今回の鹿北路線バス廃止等に伴う対応策について質問する。

答 市民部長

3月議会答弁のとおり、あいのりタクシーは本年10月から、鹿北地域以外の運行日数を週6日に統一、鹿北地域を含めて70歳以上限定でバス停から500m以内も利用可能に拡充し、料金を一律100円値上げ予定であったが、鹿北路線バスの廃止に伴い鹿北地域も運行日数を週6日に拡充予定。加えて通勤・通学や通院等の路線バス利用実績を鑑み朝夕の時間帯に往復1便ずつ予約不要の定時で走るジャンボタクシーを試験的に運行する予定。今後とも持続可能な公共交通ネットワーク構築に取り組む。



その他の質問

- 質疑：デジタル田園都市国家構想推進事業
- 質問：持続可能な山林環境整備

問 体育館照明LED化への推進状況は

答 体育館LED化本年度中に3校完了



きたはら しょうぞう
北原 昭三 議員
(公明党)



過去の議会でも質問

H30年12月



大道小学校体育館（今年度中にLED化を完了）

その他の質問

- 市営住宅の管理について
- 消防について

問 ①学校体育館照明のLED化の状況及び今後の方針を問う。
②学校体育館へのエアコン設置状況はどのようになっているか。国庫補助率の引上げを好機と捉えエアコン設置を計画的に進めるべきではないか問う。

答 教育部長

①照明のLED化が完了していない学校体育館は7校、このうち3校は今年度中にLED化を完了する。残る4校については、順次計画を進め、令和7年度までに全ての学校体育館照明のLED化を目指している。

②現在、市内の学校体育館において、エアコンを設置している箇所はない。今般、文部科学省において学校体育館の空調整備に関し、新設の際の補助率を手厚くするとの方針が示された。学校体育館においては、授業のみならず部活動や、地域における利用なども想定されることを勘案すると、児童生徒をはじめ、利用者にとって快適な環境づくりが必要であることは十分に認識している。本件については引き続き、費用対効果や導入に当たっての諸要件等を見極めつつ、対応について熟慮する必要があると考える。

問 マイナカード紛失の原因と職員の処分は

答 内規や周辺自治体の状況を鑑み処分を行った



たかはし りゅういち
高橋 龍一 議員
(鹿政不動産)



その他の質問

- 報道機関への情報提供について
- 学校給食について

問 去る4月24日に本市にて発生したマイナンバーカード紛失事案については、5月1日付で本市ホームページに掲載されているお詫びの文書に、再発防止策として今後は複数人で確認することを徹底するとあるが、本来、国から示された作業手順を守った上での紛失であったのか。また、その後当該職員の処分は行われたのか問う。

答 市民部長、総務部長は国が示す事務処理要領や各種通知に沿った作業を行っていたものの、一連の処理を一人の職員だけで行っていたことが原因であり、人的ミスである。今後は、工程ごとに徹底したダブルチェックを実施するよう改善を図った。

また、職員の処分については、当該職員の顛末書に基づき事実確認を行い、本市の懲戒処分の指針や他自治体の事例等を総合的に判断し、職務履行の改善向上を図るための処分を行った。



問 文化課の意義・目的は何か

答 文化行政の充実と文化振興の推進を図る

せいだ しょういち
勢田 昭一 議員



過去の議会でも質問

R3年12月

R4年6月

R4年12月



文政4年（西暦1821年）から続く「権現さん祭り」
菊鹿町上永野地区

その他の質問

- 職員不祥事の対応について<市政を透明化する視点>
- 子育てしやすい学校環境について<人口増加に転ずる視点>

問 今春から、組織改編で「文化課」が新設された。本市には、国指定（11）・国登録（3）県指定（19）・市指定（159）の文化財が合計192件と県内有数の件数を誇っていることから、文化課の設置は高く評価できる。そこで、文化課の意義・設置された目的を伺う。

答 教育部長
目的は、市内に数多くある文化財の保存と伝承に努めながら、より一層の活用を推進し、文化行政をさらなる充実を目指す。文化課は、「文化企業」と「文化財係」で構成され、民俗芸能団体の育成、文化団体の活動支援等に力を注ぎ、文化振興を推進する。



問 指定管理物件5施設に対する今後の市の考え

答 指定管理による運営を継続、公募も検討

やました せいじ
山下 誠治 議員
(れいわ創造)



問 ①令和5年3月議会議案第2号の令和4年度一般会計補正予算の債務負担行為補正により指定管理料が見直しされた「道の駅小栗郷」「特産工芸村」「道の駅水辺プラザかもと」「鹿央生産物直売所」について令和8年の指定期間満了後の方向性を伺う。

②令和10年期間満了の八千代座の今後の方向性について伺う。

答 市長
①現在の指定期間満了後も指定管理による管理運営を継続する。また、選定方法については指定管理料の見直しにより参入しやすくなっていることを踏まえ、公募によることを考えている。

②これまでは文化財としての適切な管理に重点を置いて「非公募」としてきたが、昨今、文化財を活用した地域振興の必要性も高まっていることから、八千代座をより一層活用していくために公募による選定も視野に係団体などから意見を伺い、次回の選定方法を決定したい。

その他の質問

- 各選挙における投票率アップについて今後の対策
- ふるさと応援寄附金の現状と今後の見直し

問 旧かおう保育園跡地利用は

答 有効的な施設利用、または処分の検討



うどう たつき
有働 辰喜 議員



旧かおう保育園全景
(鹿央グラウンド側より撮影)

その他の質問

- めのだけ小学校体育館の面積不足について

問 ①施設の現状と今後の処理方針はどのようにするのか伺う。
②当該施設に、廃止されたふれあい塾の機能と、高齢者から子どもまで集える鹿央地区のコミュニティセンターなどの役割を担う公の施設として、市所有の施設のままで継続できないか伺う。

答 福祉部長

①建物は築20年で現在電気・ガス・水道は停止中。一部修繕の必要はあるが使用に耐えうる状態にある。今後の活用は未定。

市としては、まず行政目的での利用検討、次に地元利用の意向を確認後、譲渡を基本に地域主体の管理・運営を検討。最後に公募等による民間譲渡を基本方針としている。
②地域の高齢者が孤立しないような仕組みや、高齢者から子どもまで集えるような居場所づくりは大変重要であると考え、処分の基本方針にのっとり、周辺の既存施設の利用状況、地元の見解や要望を伺うなどして、有効的な施設利用、または処分を行う。

問 部長の執行環境について

答 よりよい執務環境の整備・改良に努める



ながた こうじ
永田 紘二 議員



過去の議会でも質問

R5年3月



簡易壁やパーティションに囲まれた部長執務室

その他の質問

鳥獣被害対策について

- ①有害鳥獣駆除対策について
- ②有害鳥獣防止対策について
- ③今後の対策について

問 3月議会で、部長室の簡易壁やパーティションの意義について尋ねた。職員の執務環境は組織再編や人事異動等により変わることは理解する。部長の執務スペースについては、部長判断に委ねるのかもしいないが、パーティションを分離して、「部長の顔が見えるような執務環境をつくる」という考え方もあると思う。パーティションについて、その後どのような検討が進んだのか、各市の状況を含めて再度尋ねる。

答 総務部長
県内他市の部長の執務環境は、4市が庁舎供用開始から独立した執務室を設けており、残りの市については、特別に部長室は設けておらず簡易壁やパーティションで仕切りもしていない。各部長から意見を聞いたが、結論としては事務の執行上必要な環境は整備すべきだと思う。
円滑な事務執行のため、組織を改編し、それに応じた執務環境を整えることは庁舎管理上も不可欠であると考えている。

令和5年（第2回）6月定例会における賛否表

審査審議案21件のうち賛否が分かれた議案のみ掲載します。

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

上程された議案・概要	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	13	14	15	16	18	19	20	賛成 (○)	反対 (●)
	関口和良	永田壮拓	深牧大助	原芳郎	隈部賢治	高橋龍一	豊田新二郎	山下誠治	古川和博	金光一誠	松見真一	小川榮二	芋生よしや	勢田昭一	有働辰喜	富丸洋一郎	北原昭三	永田紘二		
専決処分の承認を求めることについて（山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	16	1

議案第59号山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の課税限度額を引き上げて104万円とする条例改正に反対。引き上げにより国保世帯の113世帯が226万円の負担増となる。コロナ前から5万円、この10年では23万円も引き上げられ、3年も続いてきた新型コロナ、そして昨年からの急激な物価の高騰で苦しむ市民の暮らしに追い打ちをかけるもの。

国保税の課税限度額は、法定の額の範囲内で市町村が独自に設定でき、山鹿市として引き上げないという判断もできる。急激な物価高騰に苦しむ市民の暮らしを守る立場で負担の軽減こそ実施すべき。

反対討論

芋生よしや議員

議会だより研修（広報広聴委員会）

議会だよりについて大津町と菊池市に研修に行きました。

4月6日

大津町



<工夫のポイント>

- ・「町民とつながる議会だより」という意識
- ・見出しを工夫し、写真やイラストを用いてより分かりやすく



6月8日

菊池市



<工夫のポイント>

- ・表紙の写真には子どもたちの表情を重視
- ・他の自治体の良いものはすぐに取り入れる



両市町とも市民に読まれる議会だよりを作成するため、さまざまな工夫をされていました。研修を受けていただいた大津町と菊池市の議員及び職員の皆さまありがとうございました。

シップ教育特集

る主権者教育出前授業～



鹿北小学校（議員になったわけ）



めのだけ小学校（なりたい職業は）



菊鹿小学校（投票のやり方は）



大道小学校（結果報告）

市民の皆様こんにちは、山鹿市議会では毎月議員全員が集まって色々な事柄を協議し合う全員協議会を開催しています。

協議の中で山鹿市の全小学校の5年生、6年生（学年は小学校により異なります）を対象に全議員による主権者教育を行うことになり『ぽりぽり村のみんなしゅぎ』という絵本を題材に読み聞かせボランティアの保護者の方にも協力していただきました。

この物語は厄介者のドラゴンを村から追い出すか？共存するか？で二人の村長候補の主張を聞いて皆で村の将来を考えるものです。

最後に村長選の模擬投票で選挙を体験してもらいました。

子どもたちに山鹿市の未来を考えてもらいたい山鹿市を愛してもらえよう企画したものです。

絵本『ぽりぽり村のみんなしゅぎ』はひだまり図書館、こもれび図書館に置いてありますので是非ご一読下さい。写真は各学校で行ったときの模様です。

シチズン ～全議員によ



鹿本小学校 (寄せられた感想)



山鹿小学校 (投票中)



八幡小学校 (開票中)



三玉小学校 (私の1票)



三岳小学校 (投票結果は)



平小城小学校 (投票箱の確認)

議会の主な動き

4月

- 3日(月) 教職員辞令交付式
- 5日(水) 全員協議会
議員人権研修
国道3号植木バイパス建設促進期成会 監査
- 6日(木) 広報広聴委員会行政視察(大津町)
- 11日(火) 広報広聴委員会
- 12日(水) 熊本県民体育祭菊池地域・山鹿大会実行委員会
- 18日(火) 広報広聴委員会
- 20日(木) 百歳表敬訪問
- 21日(金) 灯籠制作開始祭
- 26日(水) 全員協議会
広報広聴委員会
- 27日(木) 企業連絡協議会総会
- 28日(金) 八幡小学校屋内運動場建設工事起工式
- 29日(土) 西南の役山鹿口戦没者慰霊祭

5月

- 9日(火) 鞠智城期成会理事会
- 11日(木) 建設業協会鹿本支部第35回懇親会
広報広聴委員会
- 22日(月) 国道3号植木バイパス建設促進期成会総会
- 23日(火) 「こどもまんなか熊本」キックオフトップセミナー
熊本県市町村振興協会 第1回理事会
議会運営委員会
- 29日(月)

6月

- 1日(木) 第281回熊本県市議会議長会(～2日)
- 5日(月) 6月定例会開会・全員協議会
広報広聴委員会
- 8日(木) 九州市議会議長会定期総会(～9日)
広報広聴委員会行政視察(菊池市)
- 12日(月) 質疑・一般質問
- 13日(火) 全国温泉所在都市議会議長協議会
第282回熊本県市議会議長会
- 14日(水) 第99回全国市議会議長会定期総会
- 15日(木) 質疑・一般質問・委員会付託
- 16日(金) 予算決算常任委員会
- 20日(火) 建設経済常任委員会
- 21日(水) 市民福祉常任委員会
- 22日(木) 総務文教常任委員会
- 26日(月) 予算決算常任委員会
議員研修会
- 27日(火) 議会運営委員会
- 28日(水) 6月定例会閉会・全員協議会
広報広聴委員会
- 30日(金) 百歳到達者表敬訪問

全国市議会議長会表彰受賞

「第99回全国市議会議長会定期総会」において、市議会議員として長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により、表彰を受けられました。



服部 香代氏
(10年以上)

【表彰規定】
10年以上市議会議員の職にある者。

【人事案件】

※敬称略

〈人権擁護委員〉

市長から提出された「人権擁護委員の推薦」については、次のとおり同意しました。

山鹿市泉町	中原 英明
山鹿市鹿本町	下川 健二
山鹿市鹿北町	藤本 照子
山鹿市中	角田 頼子
山鹿市鹿央町	西口 清美

〈固定資産評価員〉

市長から提出された「固定資産評価員の選任」については、次のとおり同意しました。

川上 高博(税務課長)



編集後記

7月の豪雨により全国で被災された方々、お亡くなりになられた方々に心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。大雨が降るたび住宅に流れ込んだ泥をかきだす被災者の悲痛な様子がニュースになります。最近の災害は、地球温暖化のせいだけではないようにも思えます。バブル経済崩壊後の失われた30年の間、構造改革の名のもとに公共工事の激減により河川や社会インフラの整備がおろそかになったと指摘する専門家もいます。人口減少社会に突入する中、本市としても市民の皆さまの生命財産を守るためのインフラ整備をどのようなビジョンで進めて行くのかも今後重要な課題となると思います。

さて、山鹿市議会だより39号を発刊するにあたり、紙面の構成をリニューアルしました。これまで議員としての思いを伝えようという長文になってしまいう傾向にありましたが、読みやすい紙面を目指し思い切ったレイアウト変更を行いました。議員は何をしているのかとのご意見の中で少しでも市民の皆さまとの距離が縮まるように今後ともわかりやすく親しみやすい議会だよりの作成に努めてまいります。

広報広聴委員会
高橋 龍一